

パネル選びの決め手は品質と信頼性



コープデイズ神戸西店では、リープтонエナジー製パネルにより、当初の予測を超える年間約196,485kWhを発電。設置後のトラブルは、いまだ皆無だ。



株式会社コープ環境サービス
ビルクリエイティブ事業部
エコソリューション課
エコチーム統括
今里友徳氏

その他のコープこうべ店舗でも 自家消費システムを積極導入!



コープこうべ協同購入センター淡路では「LP156*156-M-60」72枚を同社製の野立架台で設置。合計の発電容量は22.32kW。



コープ西明石店においても「LP156*156-M-72」が採用された。132枚合計で発電容量は47.52kW。



コープデイズ豊岡店では、「LP156*156-M-72」が576枚設置されており、合計の発電容量は207.36kW。



リープтонエナジーのパネルが活躍中!

品質や長期信頼性、コストなどのバランスにすぐれた、リープтонエナジー製の単結晶パネル「LP156*156-M-72」。

コープが手掛けるポストFIT太陽光 オール神戸で自家消費を推進!

店舗の屋根を中心に、30ヶ所を超える太陽光発電設備を設置してきたコープこうべ。従来はFITによる売電が目的だったが、2018年から完全自家消費に舵を切った。同時に、太陽光パネルの選定にも厳しい目が向けられた。新たに採用されることになったパネルメーカーとは?

撮影/井ひろみ 取材・文/廣町公則



太陽光発電が
店舗運営をサポート!

リープтонエナジー製パネルを採用し、太陽光発電による自家消費を行っている「コープデイズ神戸西店」。屋上に出力360Wのパネルが440枚設置されており、合計の発電容量は158.4kW。

自家消費に舵を切った 環境先進コープ

コープこうべ(兵庫県神戸市)は、170万人超の組合員を擁する日本有数の生活協同組合だ。環境意識の高い組合員が多く、再生可能エネルギーへの取り組みも早かった。1996年に初めて太陽光パネルを設置して以来、店舗屋上を中心に、次々と太陽光発電設備を導入。2013年にはFITによる売電を開始し、現在、その数は30ヶ所、合計出力は8MW超に及ぶ。こうした太陽光発電設備のプランニング、維持・管理にあたっては、コープこうべグループの株式会社コープ環境サービスだ。

コープこうべグループでは、2018年から太陽光発電設備に対する姿勢を大きく変えた。それまでに設置した設備は、基本的にはFIT案件だったが、2018年以降に設置した太陽光発電(4件)は、いずれも完全自家消費システムだ。ここで発電した電力は、一切売電には回さず、同ビルに入った生協およびテナントの事業用電力として使用する。その背景について、コープ環境サービスで太陽光発電事業を指揮する今里友徳氏(ビルクリエイティブ事業部エコソリューション)は、「これまでFIT案件だったのが、コープこうべと同じく神戸発祥のパネルメーカー、リープтонエナジー(兵庫県神戸市)の製品だった。新規自家消費システム4案件には、いずれも同社の太陽光パネルが設置されることになった。その理由は、どこにあったのか?」「リープтонエナジーさんのことは、それまでももちろん知っていましたが、あらためて多くのメーカーの製品を比較検討し、品質と価格のバランスが最も良いメーカーであることが分かりました。また、同じ神戸の会社として、お客様のために親身になって対応する姿勢にも共感を覚えました。オール神戸として、手を携えてやっていきたいと思います。」(今里氏)。

オール神戸としての 取り組みに期待

プロジェクトの進行に際しては、「細かい仕様変更にも柔軟に対応してくれるのが嬉しかった」と今里氏は続ける。さらに、設置後のパフォーマンスも良好で、設

課エコチーム統括)は、こう語る。「コープこうべでは2018年、環境チャレンジ目標を策定し、2030年までに、事業活動におけるCO2排出量を半減する目標を掲げています。これを達成するためには、使用する電力の再生エネルギーを高めていく必要があります。再生エネルギーは必然の流れでした。同時に、FIT買取価格の下落が続ぎ、新たな設備についてはFITで売電するよりも自家消費をした方が経済的メリットが大きいという状況にもなってきました。さらに、ここ数年、自然災害による停電が各地で頻発していることから、非常用電源としての太陽光発電への関心が高まってきたことも挙げられます。」

リープтонエナジー製品を 自家消費パネルに選定

自家発電に取り組みにあたって、太陽光パネルの選定にも、それまで以上に厳しい目が向けられることになった。

「従来、太陽光パネルの選定については、基本的には施工業者に任せていました。しかし、新たに自家発電設備をつくるにあたって、今後は私たち自身で太陽光パネルメーカーを選んでいくことにしました。自家消費においては、FIT

計時のシミュレーションを、いずれも10%近く上回る発電量を記録しているという。

これについてリープтонエナジーでは、「パネルの品質にバラつきがあると、弱いところに引張られて設備全体の性能が落ちてしまいます。しかし弊社では、一貫した管理体制のもと自社工場である、品質が高いレベルで安定しているのです」と述べている。さらに、設置後のトラブルは、いまだ皆無とのこと。充実した保証制度があることと相まって、リープтонエナジーに対する信頼は高まるばかりだという。

コープこうべでは、今後も関連施設の屋根に太陽光パネルを設置していく計画だ。カーポートなども設置していきたいという。オール神戸の取り組みに、地元組合員の関心も高まっている。

リープтонエナジー株式会社
神戸本社/兵庫県神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビルディング6F
東京支社/東京都港区新橋3-5-10 新三ビル6F
☎0120-850-800
E-mail: info@leaptonenergy.jp
www.leaptonenergy.jp